



「愛・地球博」市民プロジェクト 二次公募説明会

2005年日本国際博覧会「愛・地球博」が2005年3月25日より185日間にわたって行われます。長久手会場、瀬戸会場という2会場のうち瀬戸会場では、国際博覧会初めての試みとして、市民が主役となって地球的課題の解決に取り組む「市民プロジェクト」を実施します。

『市民の活動の場をパビリオン内に設けていただきます。』
市民パビリオンには400名のホールと330平方メートルの展示室、海上広場には棚田状のオープンステージがあります。ここで、各NPOのミッションを発揮した対話イベントを中心に、催事や展示やワークショップを実施いただきます。



パビリオン完成予想図

『一次公募とは?』

昨年12月にスタートした一次公募に参加された360人のメンバーには、「いのち」「隣人」「環境」「とき」「美しさ」の5つの「愛・地球博」のテーマに基づいて、50のテーマ・プロジェクトを提案いただいております。

『二次公募とは?』

一次募集でのテーマに加え、新たな提案も含めさらに大きな市民の輪にと考えています。具体的には、一次公募メンバーからご提案いただいた50のテーマ・プロジェクトへの参加。

- ・新たな実現性の高いプロジェクトの提案と参加
- ・「世界対話(グローバルダイアログ)」「ティーンズダイアログ」「世界市民遺産」等として現在準備されている基盤プロジェクトへの参加

『具体的にどんな参加のかたちをとるのか?』

- ・それぞれの団体で『催し』を開催していただく。一日のみでも、複数日でも、もちろん全期間でもかまいません。得意分野で。例えば、音楽の演奏を通じて、自然の大切さをアピールするのはいかがでしょうか。
- ・それぞれの団体で『展示』していただく。展示物だけでもいいですが、できれば説明者がいたいただけるとさらにいいです。規模の大きな展示の場合「ブース」という形でも可です。
- ・それぞれの団体で『ワークショップ』を開催していただく。日頃の活動をそのまま、会場内で開催していただく。もちろん、自然観察会等の場合フィールドが違いますが、その場合は事前調査も可です。

『出会いの場』

地球的課題の解決のために、地域で具体的行動をされているみなさんの、出会いの場でもあります。期間中、さまざまな団体が活動を紹介します。多くの団体が参加するほど、内容は充実し、観客の感動は大きくなります。

【二次公募説明会・三重県津市会場】

- とき/12月18日(木) 昼の部PM1:30~PM3:00 夜の部PM7:00~PM9:00
- ところ/アスト津3階 三重県民交流センターイベントコーナー(津市羽所町700)
- 応募締切/12月12日(金)
- 申込方法/団体名、出席者名、連絡先(電話、E-mail)、出席時間を下記まで連絡。
- 申込・問い合わせ先/460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-7 愛知県産業貿易館西館2階 「愛・地球博」市民プロジェクト事務局(担当:土本・岩根) Tel.052-219-5214 Fax.052-219-5215 E-mail setumeikai@expo-people.jp ホームページ <http://www.expo-people.jp>

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPOチームのホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大町7-15 津センターバレス3階)/オールウェイズ(津センターバレス1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/鳥羽NPOネットワークセンター-結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市鶴町4-17)/アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考案みなと(四日市市川原町26-13)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウイラム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/各振市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリポート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上9-4-5)/松坂大学(松坂市久保町1846)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

アスト de プロデューサー 1 岡嶋多華夫

社会起業家～世の中を良くする人たち～

みなさん、「ボランティア活動=奉仕作業」と思っていませんか?僕は声を大にして言いたい。「ボランティア活動=社会事業活動」です!
最近のNPOは成長著しく、事業家が驚くほどの社会事業を自発的に立ち上げているところもあります。今NPOに必要とされているのは「マネージメント力」「営業交渉力」です。もはや「ボランティア団体」では収まりきらず、社会基盤を構築する、最先端の社会開発チームなのです。
来年2月末にこれをテーマにしたイベントを企画中です。興味ある方、一緒にスタッフやってみませんか?

ボランティアコーディネーターってなんだ?? ⑥ 野村希代

先日ある町のボランティアアドバイザー講座に行ってきました。ボランティアアドバイザーとは、自らもボランティア活動をしている立場で、主にボランティア活動を始めてみたい人に情報を提供したり、活動中の悩みなどの相談にのったりする役割を担う人のことです。アドバイザーのみなさんはとても熱心で、その町のコーディネーターと互いに協力し合って、いい関係が築けている様子が伺えました。
そのときに、町のボランティアコーディネーターが言ったことがとても印象に残りました。「私は頼りないコーディネーターだけど、『あんたがいるから私はボランティアやってるんよ』って言ってくれる人が一人でもいれば、こんな自分でも良かったんだと思って、またがんばろうという気持ちになる」と。
地域のボランティアコーディネーターはこうしてたくさんのボランティアに支えられているんですね。地域によってコーディネーターやボランティアの様子もさまざまで、特徴があります。みなさんも機会があればとなりのまちの様子を覗いてみてください。新しい発見があるかもしれませんよ。

情報をお寄せください。市民が見つかる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

イベントスケジュール

まちのファンクラブ12月交流会

「歩いて暮らせるまちづくり」ってどんなことをするのか?

- とき/12月4日(木)PM7:00~PM9:00
- ところ/桑名市民会館 第三会議室
- 参加費/会員300円 一般500円
- 内容/「歩いて暮らせるまちづくり」とは、本格的な少子・高齢化社会に対応した安心・安全でゆとりある生活の実現のために桑名市が推進している事業です。4つの基本的な取組の中のひとつに『「行政」と「市民」の協働による永続性のあるまちづくり』があります。これは、祭やイベント等によるにぎわいのあるまちづくりを進めたり、ワークショップによるまちづくりを進めたりしていこうというものです。今回、特に「にぎわいづくり」と、「歩いて暮らせるまちづくり」を広くPRするために取り組み、楽しく行うことの出来た「桑名ワンデイウォーク」についてご紹介をしたいと思います。
- 申込・問い合わせ先/511-0068 桑名市中央町1-8-2階 まちのファンクラブ Tel.0594-27-2700(平日PM1:00~PM3:00) ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/machifan/>
- 主催/桑名ワンデイウォーク実行委員会、まちのファンクラブ

デンマークの高齢者福祉セミナー

- とき/12月6日(土)PM1:30~PM4:00
- ところ/桔梗が丘公民館 (名張市桔梗が丘6-1-131-4 Tel.0595-65-1206)
- 参加費/無料
- 内容/世界の福祉先進国といわれるデンマークの福祉制度についてのセミナーです。今回は高齢者福祉に焦点を当て、デンマーク通商代表事務所より赤池暁美氏を迎え、お話を頂きます。デンマークの高齢者福祉制度及びその制度を支える社会的背景などについて、具体的なエピソードなどを交え、また日本と比較しながら、わかりやすくお話させていただきます。その後、デンマーク人の立場から、コペンハーゲン商科大学のトマス・ベルグ氏より、「デンマークの高齢者福祉システム その現在と未来」と題し、現状と今後の展望、方向性についてお話を伺います。加えて、デンマークの福祉機器を扱っているパシフィックサプライ(株)の北田篤史氏には、デンマークまたは北欧における福祉機器について、その開発、発展の背景及び特色など、日本製品との比較もしながら、具体的に紹介して頂きます。とりわけ、デンマークでは在宅ケアや施設の住い化が進められており、そのための住宅改修や便利な福祉機器の開発の様子など伺います。これからの高齢化社会のあり方について考える上でも、また現実に高齢者の介護に取り組んでおられる方々にとりましても、大いに参考として頂けるものと存じます。
- 問い合わせ/名張市東町1723 名張国際交流研修所(代表:中森昌昭) Tel.0595-63-0699 Fax.0595-63-8016 E-mail masa-n@bea.hi-ho.ne.jp

地球環境市民大学校 環境NGOの集い in 名古屋

「平成15年度地球環境基金助成対象団体」による活動報告会

- とき/12月6日(土)PM1:00~PM5:00
- ところ/(株)新東通信名古屋本社8階ホール (名古屋市中区丸の内3-16-29 Tel.052-951-3831)
- 参加費/無料
- 内容/中部北陸東海地方の「平成15年度地球環境基金助成対象団体」による活動報告をパーティー形式の参加交流型で行います。報告を聞くだけでなく、直接会話する時間をつくりましたので、自由に交流を深めてください。また、助成金についてのアンケート結果発表や「NPOと活動費と助成金」をテーマとしたパネルディスカッション、ブース展示なども行います。
- 【パネルディスカッションメンバー】
- パネリスト…後 房雄(市民フォーラム21・NPOセンター代表理事)・千頭 聡(日本福祉大学情報社会科学部 助教授)・発表団体の代表者2,3名 コーディネーター…萩原喜之(中部リサイクル運動市民の会代表理事)
- 申込方法/申込日、参加者氏名、住所、所属、電話、Fax、E-mail、参加の動機と本講座への期待を記入し、Fax、E-mail、郵送で下記まで。
- 企画・運営/特定非営利活動法人 市民フォーラム21・NPOセ

- ンター Tel.052-586-1154
- ホームページ <http://www.sf21npo.gr.jp/>
- 特定非営利活動法人 中部リサイクル運動市民の会 460-0014 名古屋市中区富士見町9-16 有信ビル2階 Tel.052-339-5541 Fax.052-339-5651
- ホームページ <http://www.es-net.sf21npo.gr.jp/>
- ※申込・問い合わせは中部リサイクル活動市民の会へ。
- 主催/環境事業団地球環境基金
- ホームページ <http://www.eic.or.jp/jfge/>

キッズシアター『森は生きている』

- とき/12月13・14日(土・日)AM10:00~1日1回上映
- ところ/伊勢進富座(Tel.0596-28-2875)
- 参加費/1000円(市民活動・ボランティアニュース持参で800円に割引)
- 内容/キッズシアターは親子で楽しめるアニメ映画などを映画館で観てもらおうという企画です。今回の映画は『森は生きている』。春にしか咲かない花を冬に取ってくるよう命令された少女、アーニャ。吹雪の中、花を求めて森をさまよう彼女が出会ったのは…。託児(子ども1人につき200円)は事前申込みが必要ですが、小さなお子さんも一緒に会場に入っただけです。
- 主催・申込・問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター実行委員会 Tel.0596-28-4109またはTel.0596-23-0839 (受付時間PM7:00~PM10:00)

みんな集まれ! アストdeクリスマス2003

- とき/12月19日(金)PM4:30~PM7:00
- ところ/アスト津3階 みえ県民交流センター交流スペース
- 内容/日ごろ、市民活動や会議、学習などさまざまにご利用いただいている市民活動ボランティアセンターをこの日はクリスマスモードいっぱいデコレート。いつもと違う雰囲気の中、にぎやかに楽しいひとときを一緒にしませんか。歌あり、ダンスあり、ゲームあり。企画運営は地域の高校生たちを中心に進めています。さて、なにが飛び出すかわからない、おもちゃ箱のようなクリスマスパーティーにご期待ください。また、当日はフリーマーケットも同時開催します。皆さんのお越しをお待ちしています。
- 問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター 市民プロデューサー Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971 E-mail center@mienpo.net



平成15年度子どもゆめ基金助成事業 空気の彫刻シーバルクであそぼう!

- とき/12月23日(火)
- ところ/鈴鹿ハンター(鈴鹿市平田町)・弁天山公園
- 参加費/200円
- 内容/シーバルクとは農業用ビニールハウスのシートを使って作る、ドームです。一番大きなものは学校の教室くらい、小さなものでもあなたのお部屋くらい。たくさんつながった、四角や三角のドームの中でいろいろなことをしていっぱい遊びましょう。動きやすい服装でお越しください。なお、未就学児は親子でご参加ください。
- 【ボランティアスタッフ募集】
- 子ども達の遊びの場を一緒につくるユーススタッフ(中学生~25歳)を30人募集。22日午後から合宿して20名の製作委員(ユース)と共に準備や話し合いをします。詳しい事は下記まで。
- 申込・問い合わせ先/514-0125 津市大里窪田町2709-1 特定非営利活動法人 MIEチャイルドラインセンター Tel.&Fax.059-232-8172 E-mail mie-childline@za.ztv.ne.jp

川づくり会議みえ第5回勉強会

- とき/平成16年1月16日(金)PM6:00~PM8:00
- ところ/アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター(津駅東口横)
- 参加費/無料
- 内容/国土交通省三重河川国道事務所の田中所長さんを講師に迎えて、河川整備・管理について勉強会を行います。一般参加OK!
- 申込・問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700アスト津3

階 みえ市民活動ボランティアセンター 4号 1階 私書箱4号
Tel.090-5637-0727(久世) Fax.059-222-5971
E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

第9回みえ県民文化祭

2004 邦楽オーケストラNew Yearコンサート

～演奏家とグループ真珠(あらたま)による～

- とき/平成16年1月7日(水) PM6:00開場 PM6:30開演
- ところ/松阪コミュニティ文化センター(松阪市川井町690 Tel.0598-23-2111)
- 参加費/前売1500円 当日2000円 中高生 前売・当日共500円 ※小学生以下は入場できません。
- 内容/邦楽グループ真珠と二胡、合唱団の共演。クラシックから美空ひばりのナンバーまで、幅広いレパートリーを演奏します。なお、収益金は環境保護活動に寄付されます。
- 問い合わせ先/伊藤 Tel.&Fax.0593-22-3221 北村 Tel.0596-37-0847
- 主催/グループ真珠実行委員会、みえ県民文化祭実行委員会、(財)自治総合センター、三重県文化団体連合会、三重県、三重県教育委員会

音楽大好き!! ガツ津!!しみがつフェスティバル



- とき/平成16年1月18日(日) AM10:00～PM4:00
- ところ/津市市民活動センター2階(津センターパレス内)
- 参加費/無料
- 内容/『ガツ津!!しみがつフェスティバル』は、音楽を通して津市市民活動センターをパワーアップしようというイベントです。津市を中心

にバリバリ活動しているいろんな音楽グループが、歌や演奏、ダンスなどを披露。ウクレレ演奏、邦楽、二胡、キューバのダンス、サルサなど、バラエティ豊かなラインナップです。また、ピエロによるパルーンアートや写真展示、活動紹介のほか、飲食ブースや体験コーナーも多数参加します。ぜひ、一緒に音楽を楽しみましょう。そして、いろんな市民やグループと出会しましょう。

- 申込・問い合わせ先/津市大門7-15津センターパレス3階 津市市民活動センター事務局 Tel.059-213-7200 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>
- 主催/津市市民活動センター運営委員会、ガツ津!!しみがつフェスティバル実行委員会

四日市まんなか子ども劇場からお知らせ

- とき/平成16年1月18日(日) AM10:30開演
- ところ/四日市市立神前小学校体育館
- 参加費/前売1300円 当日1500円
- 内容/参加型ステージで、参加者にはこまがもらえます。「伝統芸能」のこまの曲芸(扇子のせ、刀の刃渡り)や、珍しいこまがたくさん出てきます。見た後は、おっちゃんの指導でこま回しをします。おじいちゃん、おばあちゃんも一緒にみんなで見に来てください。



講演会「動く子どもの声聞けば」

- とき/平成16年1月23日(金) AM10:00～正午
- ところ/四日市市立労働福祉会館3階 大会議室
- 参加費/1000円
- 内容/子育て中の親、読書ボランティア、子どもの絵本に興味のある方々に向けて、絵本の読み語りに長年とりくまれている中井千保子さんの講演を行います。保育は要申込み。定員20人、一人500円で行います。
- 募集人数/100人

子育て広場ドロップin・体験ひろば☆こどもスペース四日市 第3回合同低学年文化芸術体験

「Kid's Art Gym～ところからだげん気になる体操～」

- とき/平成16年1月31日(土) PM2:00、PM6:30
- ところ/四日市北高等学校体育館
- 入会費/入会金500円、月会費1300円(入会された方は参加券

はいりません)

- 一般参加費/前売2800円 当日3300円
- 内容/元オリンピック選手で構成された、日本初の女性だけによる華麗なアクロバットダンスショー。観客も一緒に体験をします。

- 申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場(開局日:火～土曜 AM10:00～PM5:00) Tel.&Fax.0593-51-6670 E-mail mannaka@m4.cty-net.ne.jp

第1回 障害者と健常者の交流会

- とき/平成16年1月18日(日) AM10:00～PM3:00
- ところ/鈴鹿青少年の森 ●参加費/1000円
- 内容/障害者と健常者が交わり、ゲームなどやる予定。詳しいことはホームページを見てください。
- 申込方法/E-mailにて。
- 申込・問い合わせ先/障害者と健常者交流担当 Tel.090-9269-9582 (AM9:00～PM5:00) E-mail 09092699582@sky.tkc.ne.jp ホームページ <http://pksp.jp/1253/>



ネットワークのよびかけ

～第一回 三重県民環境活動発表会～ エコリンピックみえ2004発表団体募集中!

三重県内には、さまざまな環境問題に対して懸命に取り組んでいる団体が多数あります。三重県環境県民会議では、そうした団体の活動をより多くの人々に知っていただく機会をつくりだし、日頃の活動をたたえ、将来性ある団体を応援する目的で「エコリンピックみえ2004」を開催します。表彰を受けた団体は、次年度の活動について、団体運営費の支援(上限20万円)を受ける資格が得られます。この機会にぜひ応募してください!

【～第一回 三重県民環境活動発表会～エコリンピックみえ2004】

- とき/平成16年2月22日(日) AM10:00～PM5:00
- ところ/津地方県民局本館6階 大会議室
- 応募締切/平成16年1月9日(金)
- 申込方法/三重県民環境活動発表会「エコリンピックみえ2004」応募様式を事務局に提出。応募様式はホームページ(<http://www.mec.or.jp/kenmin>)からダウンロードするか、近くの市民活動センター、最寄りの県民局(生活環境部)、または下記事務局まで問い合わせを。
- 問い合わせ先/510-0304 安芸郡河芸町大字上野3258番地(財)三重県環境保全事業団内 三重県環境県民会議事務局(担当:福田、中嶋、高橋) Tel.059-245-7512 Fax.:059-245-7518 E-mail kenmin@mec.or.jp

地域環境情報連絡団体を募集します

三重県環境県民会議は、県民・市民団体・事業者等の自主的な環境保全活動を支援し、それらの活動を適切に『つなぐ』ことにより、ネットワークを推進し三重県の環境創造活動を豊かにするため、地域の環境情報を発信する団体を募集いたします。なお公募数は生活創造園(桑名・員弁、四日市、鈴鹿・亀山、津・久居、松阪・紀勢、伊勢志摩、伊賀、尾鷲、熊野の9地区)地区ごとにNPOなど3団体とします。

- 応募締切/12月15日(月) 消印有効
- 情報発信協力費/1団体あたり月5000円。
- 活動内容/(1) 情報提供件数:月1件以上 (2) 業務内容:三重県環境県民会議情報紙(み・かん新聞)を発行する際の協力、地域環境情報の三重県環境県民会議HPへの掲載作業、三重県環境県民会議が地域で開催する交流会への協力。 (3) 契約期間:平成16年1月～3月まで、その後6ヶ月ごとに更新できるものとします。
- 申込方法/応募様式はホームページ(<http://www.mec.or.jp/kenmin>)からダウンロードするか、近くの市民活動センター、県民局(生活環境部)、または下記まで。
- 問い合わせ先/510-0304 安芸郡河芸町大字上野3258番地(財)三重県環境保全事業団内 三重県環境県民会議事務局(担当:福田、中嶋、高橋) Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7518 E-mail kenmin@mec.or.jp

みなさんへのお知らせ

【NPOチームからのお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は6団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備置いております。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- (1)CTF松阪(2)川口保美(3)松阪市本町2181番地1
- (1)だんらん(2)石田 稔(3)四日市市東新町4番17号
- (1)障害者福祉チャレンジドネット(2)佐藤政人(3)四日市市西日野町2745番地8
- (1)松韻舎(2)富山俊雄(3)多気郡大台町大字佐原1050番地
- (1)くれよんサークル(2)八嶋安弘(3)員弁郡藤原町大字大貝戸527番地
- (1)志摩福祉会なごみの家(2)伊藤政美(3)志摩郡磯部町穴川1691番地
(平成15年10月16日～平成15年11月15日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人 NPOすずらん(平成15年10月29日)
- 特定非営利活動法人 みえ治験医療ネット(平成15年11月12日)
(平成15年10月16日～平成15年11月15日届出分)

鍵付きロッカー、メールボックス利用の 申込受付のお知らせ

現在、みえ市民活動ボランティアセンター内にある、鍵付きロッカー、メールボックスを多くの団体の方にご利用いただいております。この利用期限が近づいてまいりましたので、来年度の受付をいたします。活動のためお役にたください。

【現在、鍵付きロッカー、メールボックスをご利用のみなさまへ】
更新の時期が近づいてまいりました。来年も利用を希望される方は、下記期間内にもう一度、申込用紙を提出してください。来年の利用を希望されない方、抽選で漏れた方は、12月25日(土)までに、ロッカー、メールボックス内の物品をお持ち帰りください。

【新規に利用を申し込まれる方へ】

所定の用紙に必要事項をご記入のうえ、みえ市民活動ボランティアセンターまでご提出ください。

- 申込受付期間/12月1日(月)～12月20日(土)(必着)
- 利用期間/平成16年1月4日～平成16年12月28日
- その他/応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。申込用紙はみえ市民活動ボランティアセンターにありますので受付に声をかけてください。ご希望の方には郵送、FAXでもお送りできますが、郵送料はご負担くださるようお願いいたします。受付期間を過ぎた後も空きがありましたら、随時、利用申し込みを受け付けております。その際は先着順となります。ロッカー、メールボックスの利用につきましては無料ですが、鍵の破損など明らかに利用者に責任がある場合は原状復帰をお願いいたします。

- 申し込み・問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

助成金 ニュース

イベント等支援事業補助金

- 受付締切/12月19日(金)
- 助成の目的/地域の歴史・伝統・風土・産業等を素材として行う地域振興のための事業に対し、助成を行います。
- 助成の対象となる団体/(1)市町村等
(2)県民により構成される営利を目的としない団体であって、補助事業を的確に遂行することができるもの(民間団体)
- 助成の対象となる活動/助成の対象は2種類あります。
【イベント支援事業】…住民等と一体となったイベントで、新規または新しい内容を追加したもの。
【みえ歴史街道構想推進支援事業】…同構想を推進するための新たなソフト事業およびサイン(街道案内板の設置等)整備事業、または新しい内容を追

加したものを。

- 助成の額/経費の2分の1以内の額で、上限400万円。
- 応募方法/各県民局生活環境部で申請書入手のうえ、同県民局へ提出してください。また、三重県のホームページ(<http://www.pref.mie.jp/>)トップページの申請届出様式ダウンロード 所屬別一覧「文化振興チーム」または分類別一覧「教育・文化」から、申請書様式を印刷できます。また同時に、イベント等支援事業の詳しい内容についてもご覧いただけます。
- 問い合わせ先/三重県生活部文化振興チーム Tel.059-224-2176 Fax.059-224-2408

平成16年度「JATA環境基金 地球にやさしい 市民活動支援助成」

“環境と観光の両立”という地球規模の課題への解決に向けて

- 受付締切/12月20日(土)消印有効
- 助成の目的/自然環境の持続的な利用並びに地域の健全な発展を願い、旅行者が訪問する地域における自然及び文化遺産の保護活動、並びに環境に配慮した観光の発展に寄与している市民活動に対して助成を行います。
- 助成の対象となる団体/日本国内に事務所を有する、市民主導のボランティア団体。特に、海外活動への助成を申請する団体の場合は、NPO法人資格を有していることを条件とします。
- 助成の対象となる活動/観光地における「自然や文化遺産を保護する事業」、「環境に配慮した観光の発展に寄与する事業」。
- 対象事業の期間/平成16年4月1日～平成17年3月31日
- 助成の内容/原則、1団体につき100万円程度。
- 応募方法/応募要項、助成申請費などは下記のホームページからダウンロードするか、郵送希望の場合は送付先の住所、氏名、電話番号を明記したうえで、必ず返信用切手(270円分)を同封し郵送にて請求。
- 問い合わせ先/JATA環境基金事務局 105-0013 東京都港区浜松町1-27-9新浜松町ビル6階 セブン環境NPOセンター内(担当:高木)
Tel.03-5777-0387 Fax.03-3435-1065 E-mail ecofund@jata-net.or.jp ホームページ <http://www.jata-net.or.jp>

JT青少年の育成

- 受付締切/12月31日(水)
- 助成の対象となる団体/NPO法人をはじめとした非営利法人。
- 助成の対象となる活動/平成16年度に実施を計画している事業で、日本国内において、「青少年の育成」に繋がる事業。
- 対象事業の期間/平成16年4月1日～平成17年3月31日
- 助成の額/1件あたり上限300万円
- 応募方法/応募書式などは下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロード。
- 問い合わせ先/日本たばこ産業株式会社コーポレートコミュニケーショングループNPO助成事務局 105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1
Tel.03-5572-4290 Fax.03-5572-1489
ホームページ <http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/Welcome.html>

(財)国際開発救援財団平成16年度民間海外援助活動助成

- 受付期間/平成15年12月1日(月)～平成16年1月23日(金)PM5:00必着
- 助成の対象となる団体/次のすべての要件を満たすもの。
 1. 民間の公益または非営利の団体(個人を含む)。
 2. 開発途上国における援助事業を主たる事業目的としている。
 3. 日本国内に住所または事務所を置き、責任の所在が明確である。
 4. 対象事業を推進するうえで、十分な管理能力を有すると認められる。
 5. 政治、宗教活動を主たる目的とする団体ではない。
- 助成の対象となる活動/1、農漁村開発 2、教育・人材育成 3、保健衛生・医療 4、生活環境改善 5、地域産業振興 6、環境保全 7、社会的弱者保護 8、上記のいずれかに係わる調査研究または広報啓発。
- 対象事業の期間/平成16年4月1日～平成17年3月31日
- 助成の額/原則として事業総経費の80%以内とし、最高額は500万円。
- 応募方法/募集要領は下記のホームページからダウンロード。郵送での請求などは下記までお問い合わせを。なお、申請にあたっての相談も随時、受け付けています。
- 問い合わせ先/(財)国際開発救援財団(担当:角・中島)

(社)全日本冠婚葬祭互助協会第5回社会貢献基金

- 受付締切/平成16年2月29日(日)必着
- 助成の対象となる団体/非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象。)又は大学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。(個人資格による申請については、研究助成分野以外は対象外となります)
- 助成の対象となる活動/【(1)研究助成事業】
テーマ「婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究」。
- 【(2)高齢者福祉事業】
心身の機能が低下した高齢者などを対象に、一般的な在宅福祉対策で対応困難な分野や従来の施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。または、ニーズの高さ等地域の実情に照らし必要と認められる高齢者の自己実現・自己表現を図るための支援活動や福祉活動。
- 【(3)障害者福祉事業】
重複障害、難病に起因する障害を持った障害児・者を対象に、一般的な在宅福祉対策では対応困難な分野や従来の諸施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。
または、ニーズの高さ等地域の実情に照らし必要と認められる障害児・者の自己表現・自己実現を図るための支援活動や福祉活動。
- 【(4)児童福祉事業】

保護者等が死亡又は著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の児童、引きこもり、不登校の児童を対象とした支援・慰問活動、その他児童の健全育成等に関するボランティア活動。

【(5)環境・文化財保全事業】
日本国内における植林、野生生物保護、公害防止等の活動、地域の住民の参加を経て行う文化財保護活動、リサイクル活動その他地域住民にとって重要な意義を有する実践活動。

【(6)国際協力・交流事業】
開発途上地域、紛争地、被災地における、医療活動、食料・物資援助、教材・学校建設など人材育成を目的とした国際協力・支援活動。国際交流を目的とする事業(懇親会・パーティー等は対象となりません)

●助成の額/総額およそ1000万円。1件当たりの助成額上限は200万円。但し、研究助成事業においては、上限100万円。

●応募方法/募集要項などはホームページよりダウンロードするか、下記まで問い合わせを。応募書類の提出は郵送にて。

●問い合わせ先/(社)全日本冠婚葬祭互助協会事務局 社会貢献基金助成公募受付係 105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル7階
Tel.03-3433-4415 Fax.03-3435-0880

E-mail webmaster@zengokyo.or.jp

ホームページ <http://www.zengokyo.or.jp/index.html>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやアクセスサービスでも閲覧できます。
(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

桑名地区

まちのファンクラブ

510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階

Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

今年度、三重県NPOチームが行った「NPOからの協働事業提案募集事業」は着々とその成果を積み重ねているようで、その経過や結果が公開されるのが楽しみです。先月号で少しふれましたが、桑名・員井地域でも、みえきた市民活動センターがその募集事業に2件を提案し、NPOチームが間にはいて、北勢県民局と2回目の話し合いを持ちました。

「桑名員井地域生活創造圏事業の中間見直しの住民ワークショップ」についての県民局のお返事としては、『RDFについて本庁が決定するまで、県民局としては同構想の検討推進会議の開催などを含め、環境交流エリア構想については動かない。』というものでした。今回の「中間見直し提案」の対象が、「RDFインパクトを活用した環境交流エリア構想」という、三重県全域から

のゴミ処理にあたるRDFとの関連で策定された「構想」であるために、RDFをどうしていくかという本庁の決定がないと、県民局主導で提案していける地域予算枠であっても県民局独自では動かないということでした。組織としてはそうだよなぁと思いつつ、はてと考え込んだような次第です。私たち地域住民の提案が本庁で意志決定を行う部局に届いているのかも含め、RDFの事故が、直接的な健康・環境被害や三重県のゴミ処理政策だけでなく、地域のイメージや市民のまちづくりにも大きな影響を与えたことをどれだけ解かっているのかとなぁ、それをなんとかしようと思案しているのだけれど、こちらがとまどったわけです。

「市民の視点による県の事業評価」については、県民局が実施している「協働事業」について、その事業終了後をめどに公開の協働事業の振り返りをやっていきたいと思いますというところで、県民局からのお返事待ちとなりました。市民の視点による行政事業の評価は、北勢県民局宣言で表明している外部評価を実施するステップにもなると私たちは考えています。

北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと 常務理事 辻本晴美

Tel.0593-46-4581 Fax.0593-50-0203 E-mail kobominato@yahoo.co.jp

「日本まんなか共和国女性サミット～2003岐阜～に参加して」

「日本まんなか共和国女性サミット～2003岐阜～に参加して」

昨年の福井に引き続いて、高山で開催されたサミットに今年も参加しました。男女共同参画社会の実現に向けてたくさんの方が多種多様な取り組みをされているということに今回もびっくり。男女共同参画社会の到来は家庭崩壊につながる”と信じていられる向きもあるようです。それはそれで多様性のひとつと思えばいいかとも思えなくて…ちょっと考えつつ皆様の活動ぶりを拝見してきました。男女がお互いに支えあって社会を運営してゆくためには、人権の確立も大事、安心して働ける制度的な仕組みも大事。心穏やかに人とのつながりを楽しめるような地域のコミュニティも大事。そしてこれらのことが実現されて、遺憾なく個々の個性も発揮されるというものです。それぞれの取り組みのどれ一つも欠けてはならない要素だなと改めて思いました。今回は、日々皆様の市民活動の推進のために努力している「四日市市民活動センター」運営スタッフの内2名と共に参加しました。それぞれの分科会に参加した感想もどうぞ…。

◆第4分科会「高齢社会と男女共同参画」に参加させていただきました。参加者は百十数名、女性のパワーを感じる熱気溢れる分科会でした。前半、各県5グループが活動発表を行い、苦労話あり、笑い話あり…我が家にも老人がいます、そして自分自身もいざれ訪れる問題として、とても興味深いお話を聞くことができ、勉強になりました。後半の全体討議では、意見・質問が飛びかいたが、なにぶん時間が短くもう少し聞きたかったのに終わってしまった…という感じがして少し残念でした。(海山 くにこ)

◆初めての女性サミット参加。サミットは、想像を超える内容でした。当初、内容理解度の低さから不安がありましたが、分科会に参加し、見事玉砕。私が参加した第三分科会では三重県から一団体のみでの発表ということで、来年度に向け一歩三重県リードの感が致しました。来年度、三重県でのサミット開催は期待大!!
(岩田奈美子)

W.T.Aお祭りセンター情報

〒518-0866 三重県上野市小玉町3045-1 センター長 中瀬 37
 tel: 0595-24-7612, 090-3302-0627
 fax: 0595-22-0092
 E-mail: wta@ezweb.ne.jp

お祭り 準備がすすむ!!

伊賀市市民活動センター
 14年度 準備がすすむ!!

お祭り 準備がすすむ!!

お祭り 準備がすすむ!!

おうま市市民活動センターお祭り準備委員会交流会

当センターと社協と伊賀市の各NPOの代表が協働して進めています。今しるべき事柄、これからしたい事柄、アイデアを交換したいと思います!!

12月5日(月)
 14:30~
 上野市市民活動センター(5階)

毎回場所をかえて開催してある。伊賀警察署、上野社協、阿比野社協、伊賀新聞社協、伊賀市社協と協力して、お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

12月2日!! もう今年も終わる。お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

お祭り準備がすすむ!!

メイキング・オブ・伊勢市民活動センター

市民と行政が一緒に考える市民活動センターづくり、その経緯 これまでをふりかえって...

- ★スタート 平成14年度、かねてから伊勢市に市民活動の拠点が欲しいとの市民からの要望がありました。また、総合計画にもその必要性が示されていました。伊勢市(市民交流課)では、平成15年度より、適当と思われる場所を確保することとなったのです
- 14年11月、12月「伊勢シティープラザをどんな市民活動支援センターにしたいかを考える 市民ワークショップ」開催
 開設にあたり利用する市民の声を反映した市民活動センターにするため、市民と行政と一緒に運営について検討できる場を作って、1年がかりでセンターの基礎づくりをしていくこととなりました
- 15年1月 市民が参加して運営方針を検討し、条例案の作成を目的に検討委員会を設置することとなりました。検討会運営のための「市民有志」による準備会ができました
- 2月8日 設置検討会の準備会スタート
- 2月25日 検討委員会発足 説明会
 ※同時に伊勢市(行政)内部ではワーキンググループを立ち上げて、検討委員会に参加して、集約された意見を条例案として作成していきます。
- 4月(平成15年度) 伊勢市民活動センター(仮称)準備事務局 公設公営にて仮オープン 正式オープンは16年度に
- 4月15日 第1回検討委員会
 ●第1回では「誰が」利用する場所かを検討。合意されました
- 4月16日 検討委員会メンバーリスト開設
- 5月20日 第2回検討委員会
 ●「何のために」「地域にない機能」を検討

このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

ホームページで、検討会で市民が作成した提言書「いせ市民活動センター設置ビジョン」を公開しています。

- 6月17日 第3回検討委員会
 ●準備会で作った運営方針の骨子の「たたき台」を元に意見交換
- 7月15日 第4回検討委員会
 ●予算、経費について意見交換(試算、および他所の運営経費などの資料を準備)
- 7月27日 視察
 ●四日市市民活動センター(公設NPO営) ●津津コミュニティ支援センター(企業寄付の施設、公設市民営) ●まちづくりセンター(津津市公設公営)
- 8月21日 第5回検討委員会
 ●2階部分の利用について検討 ●運営方針(案)の最終検討。
- 10月2日 第6回検討委員会
 ●検討委員会の結果を報告書として提出するにあたって、議事録と共に「センター設置に対する市民の思い」を『提言書』として準備会が作成しました。提言書・案を元に、意見交換の後、市に提出する提言書として、合意され、確定されました
- 利用団体の意見をセンター運営に反映させるシステムづくり[運営委員会(仮称)]について意見交換。第6回を持って検討委員会は解散し、利用団体を中心とした運営サポートの組織「運営委員会(仮称)」を新たに立ち上げることとなりました
- 10月30日 条例素案説明会(→条例完成後、議会に提出される)
- ★11月5日 報告書&提言書を市長へ提出 (…つづく)

伊勢市民活動センター(仮称) 準備事務局 稼働中!

団体登録すれば、会議室などが利用できます。
 開館時間内の施設への出入りはフリー。市民活動の情報展示がされているので、情報の発信、収集などに利用を。

【伊勢市市民活動拠点施設設置準備事務局】
 住所 伊勢市岩淵1丁目2-29 伊勢シティープラザ南館
 電話 0596-20-4385
 開館日 月曜～金曜(祝日、年末年始は除く)
 時間 午前9時～午後5時

※お問合せは…伊勢市 市民交流課 Tel.0596-21-5549まで

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。宮川村にある大杉谷自然学校の事務局長として活躍している大西かおりさん。彼女が紹介してくれたのは阿児町にある横山ビジターセンターの西岡典洋さん。優しい口調のインタープリターです。

横山ビジターセンター

……横山ビジターセンターができたのはいつですか？
平成11年4月に開館して、5年目になります。その割には知られてなくて(苦笑)。

……こちらは阿児町が設立したのですか？
いえ、環境省の直轄です。ビデオや写真、展示物によって伊勢志摩国立公園を紹介する施設として、またここを拠点にして、自然にふれ、関心を持ってもらうことで、環境の大切さを知っていただく、いろいろなイベントなどを行っています。

……西岡さんは環境省の職員なのですか？
横山ビジターセンターの運営は伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会という組織が行っています。これには環境省と三重県、伊勢志摩国立公園を構成している10の市町が会員として参加しています。私はその協議会の職員ということになります。

……名刺にはインタープリターとありますが、この意味は？
最近、この言葉も浸透してきたと思っていましたが、まだまだですね(笑)。今までは自然解説員と呼んでいたんですが、自然を通訳するというか、自然に対して縁遠くなった現代人と自然との架け橋役ということなんです。

……ここを訪れるのは地元の方が多いのですか？
横山に来られるのは観光客がほとんどです。そういった方にちょっと自然にも興味を持っていただけるよう、常設展示に加えて、横山のあるどんぐりや葉っぱ、写真などを展示しています。

……おしゃれな建物ですから観光案内所と間違えられるのでは？「レストランですか？」なんてね(笑)。外観がシンプルなので、もっと内容がパッとわかるような物が必要なのかなとも思っています。今年度中に大型バスが通れる道路もできますから。

……スタッフは何名ですか？
常駐が2名。あと、1名、週に1度だけ来ていただいています。

……3名では大変ではありませんか？
パークボランティアを募って、サポートしてもらっています。

……パークボランティアの活動内容は？
自然観察会で講師やアシスタントをしていただくほか、「自然」をみんなに伝えるために、いろいろな関わりを持ってもらっています。この他、自然歩道などのバトロールというか、破損箇所などが無いか、

チェックしてもらっています。破損があった場合はみんなで直したり、ベンチを作ったりもします。あとはゴミ拾いですね。またパークボランティアとしての組織づくり、メンバーのスキルアップを図るために研修会なども行っています。

……人数は？
今は25名です。三重県内全域から参加されていますので、遠くは四日市市や津市、松阪市の方もみえますよ。

……西岡さんとパークボランティアとの関係は？
コーディネーターというか、月に1回開かれる役員会で決めたことをボランティアの皆さんに伝えたりしています。そうそう、パークボランティアの皆さんに『自然観察ブックレット』をつくってもらいました。横山にある樹木の説明やクラフトのつくり方などが掲載されています。人気があるのはピンゴ。数字の代わりに「黄色い花」とか「鳥の声」など書き込んで、それを見つけながら歩いてもらうというものです。この他に、「横山セルフガイドシート」というものもあります。ビジターセンターから横山の第三展望台までの間に、樹名板をつけた木が48本あるのです。それをチェックしてもらうシートですけど、これをもっと充実させたいですね。これがあれば、訪れた人が自分の都合の良い時間に、自由に散策できますから。



自然観察ブックレット

教えるのではなく、一緒に自然を感じるイベント

……イベントについて教えてください。
月2回、横山をフィールドに自然観察会を行っています。これ以外に協議会のメンバーである10の市町が、それぞれの自然資源を活用した、ふれあい体験を年1回ずつ、併せて10回行っています。……西岡さんも参加されるのでしょうか？

講師役を務めることもありますよ。でも私の場合、学校のように知識を教えるというのではなく、一緒に自然を感じましょう、発見しましょうという感じ。教えるということも、自分としては苦手です(笑)。……参加者の方と一緒に…というのが西岡さんのスタンスですか？
教えてもらうよりも、自分で何かを発見してもらうことが一番、大事。そのためには発見しやすいような状況、場所に案内するのが役割だと思っています。

……そのためのノウハウは？
基本的には現地を一緒に歩くことだと思います。横山という同じフィールドでも、その時によって新たな発見があります。それが自然の良さですね。この前の観察会でも、木からぶらさがって、アゲハの幼虫を食べているムカデを見つけました。そういうのは実際に歩いてみないとわからないことでしょうか？参加者の方も、「前に歩いた場所だから、今日は止めておく」なんて言わないですよ。それに山の中に入ると、スッとひんやりするでしょう。木から人間を心地よくするものが出ているのでしょうか。とにかく気持ちいいですよ。森の中にいると、もちろん、この季節にはこんな花が咲くとか、あの場所に行けば、こんな風景が見られるとか。知識やテーマも予め用意はしておくんですけどね。



横山ビジターセンター インタープリター 西岡典洋 さんに 聞く

……企画づくりの際、西岡さんが気をつけていることは？
 まず関心を持ってもらうことを大前提にしています。そのためにも自然観察会のテーマに、さまざまな分野を取りいれています。
 ……さまざまな分野とは？
 横山というフィールドに限定するにしても植物のこと、土壌、鳥…。いろいろありますよね。磯場に遠征することもありますし、星空を見ることがもできます。あと、昔は人々の生活がベースにあって、根本的なところで自然と関わっていましたよね。食べる物を得たり、住の部分では炭焼きや薪。ですから、五感、なかでも味覚ということに企画をつくる際は重点を置いています。自然の恵みをいただくことで、食べるためには、もっと自然を大事にしないで…という気持ちになってくれるのではないかなと。
 ……今は生活と自然が密着していませんからね。

一般の人の目から見たことを伝えていきたいと思っています。

昔は木を切って、使い、燃やしてできた灰をまた使ってというサイクルがありましたけど、今は物を燃やそうにもダイオキシンの問題などもあって難しいですね。私が子どもの頃にはたんぼの畦焼きなどで、火を見る機会がありました。火は怖い面もありますが、ありがたい面もあります。畦焼きをしないとツクシなども生えてこない。そんなことを体感できましたし、火の怖さも知りました。今の子はその体験ができない。それを何とかしたいという気持ちがあります。
 ……観察会は子どもの常連さんもいるのでは？
 小学生は保護者同伴で参加してもらっているのですが、そうすると親御さんがある程度、自然に関心のある人ということになりますから、その辺りで参加者が限られてくる部分はあるかもしれませんね。でも、新規の方も多いですよ。
 ……遠くの方も参加されますか？
 今までの参加者で一番遠かったのは愛知県春日井市の方ですね。大王町がふれあい体験として行った「海女さんと磯遊び」というプログラムでしたが、インターネットのホームページをご覧になられて、参加くださいました。
 ……12月のイベントを教えてください。
 注連縄づくりをします。伊勢志摩は注連縄を一年中つけますよね。その理由や「蘇民将来子孫門」の札のいわれなどを説明します。あと、注連縄にはワラだけでなく、いろいろな植物が使われています。ユズリハ、ヒイラギ、アセビ、ダイダイ…。それらが何のために入っているのか、そんなお話もさせていただきます。
 ……冬場は自然観察会のテーマも少ないだろうと思ったのですが、そういう切り口があるんですね。
 冬場ならではの観察テーマもありますよ。例えば冬芽や葉が落ちたあとの葉痕観察ですね。葉痕って、猿の顔のような形とか、いろいろ表情があって楽しいですよ。
 ……地元の方との繋がりはあるのですか？
 注連縄づくりの講師は、地元で農業をされている方をお願いしました。そんな風に、いろんな分野で地元の方を講師に招ければ良いなと思っています。
 ……自然環境活動をしている他のグループとの交流は？
 志摩には山間のたんぼをフィールドにされている「フィールドキャンパス21」というグループがあり、年間6回ほど、大きなイベントをされ



平成13年6月ホテル鑑賞会。



平成13年10月横山自然観察会。



横山ビジターセンターの展示室です。

ています。今年度の総仕上げのイベントに、うちも何か関わらせてもらえないかと思っています。今はまだ、一緒にイベントをやったことはありませんが、同じ地域で、同じような姿勢で活動しているのですから、自然環境活動を大きくするために、手を組んでゆければと思っています。この他、パークボランティアとして参加されている人の中にも宮川流域ルネッサンスの流域案内人や自然観察指導員の方もたくさん見えますし、自分たちで活動団体をつくられている方もいますよ。ビジターセンターは横山だけでなく、伊勢志摩国立公園内では鳥羽と、大王町登茂山にもあります。この3つが拠点となって、連絡を取り合い、たくさんの人を繋げる役目ができるようになっていきたいと思っています。

横山に関する自然知識をもっと知りたい

……前から自然観察などの趣味があったのですか？
 関心はありましたが、休日の度に自然に出かけていくほどではありませんでした。以前は真珠関係の仕事をしていました。
 ……センターのスタッフ公募に応募した理由は？
 私の家は横山のすぐ近く。小さい時から横山の自然には、馴染みがありましたから。その横山で自然のことを、人々に伝えることができるというのが、良いなあとと思ったからです。ただ、自分自身、専門の学校を出たわけでもありませんので、一般の人の目から見たことを伝えていきたいと思っています。
 ……勉強も絶えず必要でしょう？
 今の能力だけでは追いつきませんから、勉強会などにも参加しています。自分より経験豊かなパークボランティアも多いですよ(笑)。
 ……でも、よく勉強されていますね。
 星座とか苦手な分野も多いです(笑)。横山がフィールドですから、まずは植物。そして横山全体に関する自然関係の知識を浅くても良いから、広く持ちたいなと思っています。この辺りはカスミサンショウウオも生息していますよ。そんな、あまり知られていないようなことも、皆さんに知らせたいですね。

横山ビジターセンター

住所/517-0501 三重県志摩郡阿児町鶴方875-24

Tel.0599-44-0567 Fax.0599-46-0701

E-mail shimavc@wonder.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www2.mie-net.ne.jp/iseshima/>

【12月のイベント・注連縄づくり】

●とき/12月20日(土)AM9:00集合

●ところ/横山ビジターセンター

西岡典洋さんはこの人を紹介します。

木原寿代さん

「パークボランティアでもお世話になっています」と西岡さんが紹介してくれた木原さんは自然観察指導員。松阪市の松名瀬海岸をフィールドに「松名瀬干潟ウォッチング」を定期的に開催しています。

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。



古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。